



アイルホーム（株）・興雄地区森林育成（協）と オホーツク総合振興局との協定締結

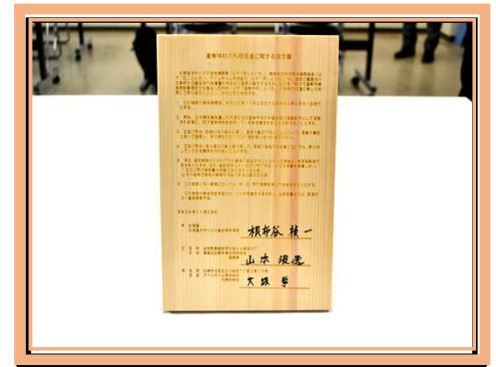


～ 協定締結の経緯 ～

アイルホーム（株）では、平成7年の創業以来、ハウスメーカーとして「北海道という地域に貢献する」「北海道で育った資材を活用する」ことにこだわり、道産木材をブランド名として、住宅部材に利用したいとの意向から、道有林材の生産・加工をしている興雄地区森林育成協同組合と道有林を管理している西部森林室との間で合意が図られ、平成29年11月に協定を締結しました。



協定書を手にする協定者
(左：根布谷局長・中央：大坂社長・右：山本理事長)



署名された協定書
(道有林トドマツ人工林材を使用)

～協定調印式は平成29年11月29日(水)～

【協定締結者のコメント】



○アイルホーム株式会社
代表取締役 大坂 学(おおさか まなぶ)

強度・耐久性に優れた
道有林産カラマツを中心に活用し、地域に貢献したい。



○興雄地区森林育成協同組合
理事長 山本 俊逸(やまもと としひつ)

オホーツク産の木材が住宅に使われることで、
森林資源の循環利が進むことを期待します。



○オホーツク総合振興局
局長 根布谷 禎一(ねぶや ていいち)

道自らハウスメーカー等と道有林材の利用促進
に取り組むのは初めて。広くPRしてもらいたい。